

人	口
(3月1日現在)	
世帯数	1683
人口	5062
男	2356
女	2706

昭和49年3月15日／発行：愛知県西尾市和郡瀬戸町／編集：瀬戸町役場町長公室



ワカメ / シーズンくる

おもな内容	
◆詩 赤い薔薇	1
◆48年度を反省し 49年度へ	2
◆ミテシルベ	2
◆成人式	3
◆児童作品	3
◆お知らせ	4
◆人々のうごき	4

赤い薔薇を作ろう
庭一面に作りあげよう
そして一輪 君にあげよう
花びらが 君の血のように
鮮やかな薔薇を君にあげよう
赤い薔薇の花ことは
それはほくの燃える思い
花びらのひとつひとつに
ほくの青春の血をたぎらせて……
もし、つき返されたら
君に薔薇のとげをつきたてよう
流れ出る血の色は 赤い薔薇の色
そして ほくの涙の色
悲しい思いを秘めて また作ろう
赤い薔薇を……



詩

赤い薔薇

四ツ浜中三年 阿部俊人

昭和四十八年度を反省 四十九年度へ

昭和四十八年度もよい福祉施策に於ても色々々として三月を迎え、年度を送る画通り進まず、公共事業総てにわたり遅延をただし、困をあけて「福祉元年」と本町の後進性の強い所として、この一年間を振り返り、さて四十九年度は広域市いろいろと反省をいたし、町村事業として「し原野四十九年度の新しい年の施策発展を期して行く、一つは「又夏柑蜜柑価格の暴落で農家経済が破綻せんとする現在、将来農業施策を研究する為の「農業研究センター」、「漁業関係」では取る漁業から作る漁業への技術者養成、「観光につぎましては、佐田岬特産品の特産で次々におこりはじめ文字どおり内憂外患もも至る深刻な一年でございました。三崎牛も衰ひ往年の姿は見る影もありませんが、あの採草地であった原野を改良して三崎牛の放牧を改良して三崎牛の放牧に依る維持発展と観光を計画しております。「又文化向上」には全人教育の場が是非必要で、諸々の組織作りも計画しております。

反省するとともに住民、のと考えられ、町政の運福祉の為にどうあるべきか熟考せねばなりません。必要とする事になりまないと申しても、昨年来の物価不安に加えてエネルギー資源による総需要の抑制を中心に、事業執行の遅延、金融引き締め、都市の成長発展に、地方財政、地場産業をかねてないほどの影響が、都市の成長発展に、町民皆様の御指導御協力をお願い申し上げます。

少しの掛金であなたを守る
愛媛県市町村交通災害共済組合

加入者資格
 一 年齢 一般 六〇〇円
 中学生以下 二五〇円
 共 済 期 間
 S四十九年四月一日から
 S五十年三月三十一日まで

あなたをおまちしています 図書利用を

中央公民館では年額100円の会費で図書の貸出を行っております。下記の図書を購致しましたのでお知らせいたします。下記の新規に購入致しましたのでお知らせいたします。

①勝海舟 (上、中、下)
 ②新編 日本書紀 (上、下)
 ③山田 健太郎 (上、下)
 ④山田 健太郎 (上、下)
 ⑤山田 健太郎 (上、下)
 ⑥山田 健太郎 (上、下)

⑦結婚礼法新書
 ⑧書道三休字典 (関東編 北海編)
 ⑨文学の日本史
 ⑩重要文化財 (彫刻、絵画、建造物)



計量器定期検査のお知らせ

計量器の精度・構造を長く維持することは不可能であるため、取引証明に使用される計量器を定期的に検査し取引証明における計量の安全を図るため都道府県が行なう定期検査を行います。

◎実施年月日 昭和四十九年四月十七日
 ◎実施場所 午前七時～十二時迄 瀬戸町中央公民館
 午後一時～五時迄 四ツ浜支所
 ◎検査対象計量器 (1)はかり (2)自動ます
 ◎罰則規定 定期検査を受けないときは、罰金に処せられます。

広報せと

生活環境美化大会で 河野徳七氏表彰さる



二月二十日、保内町中央公民館で生活環境美化大会が開催され、瀬戸町からは生活改善グループ、青年団等十八名が参加し「我が郷土にうるおいを求めよ」と題する全体討議、松山商大、井上幸一先生の「これからの消費生活を考える」と題する講演があり、「豊かな心とふるさと」を作る為、熱心な意見発表討議が行なわれました。

又町関係では左記二名が表彰されました。

◎優秀実践活動者 河野徳七
 須賀の森の維持管理に献身的な努力をほられ、自然環境を美しくする公徳心の高揚につとめられた。

◎緑と花の美化モデル地区
 県立自然公園審判員 代表 土居富士吉

児童手当制度について

請求手続が四月以降に成った場合は、その翌月分からしか支給されませんので御承知下さい。

昭和四十九年三月三十一日まで

野鳥獣被害駆除について

昨春秋の収穫を前にして、芋、温州みかんにおいて、鳥獣の被害が発生し、今後も農作物の品種等により被害が発生すると思われるので、もし被害発生の際は、捕獲方法、捕獲禁止鳥獣も指定されているので、被害状況により、有害鳥獣駆除申請を作成し、農家の要望に応えるべく方法もありますので、被害が深刻になるまでに早急に、町産業課へ連絡して下さい。

はばたく新成人 三十七名



昭和四十九年成人式が一月十五日午後一時より瀬戸町中央公民館において、成人該当者三十七名のうち十八名が参加し、町長、議会議員等来賓からのお祝いの辞が送られ、新成人を代表して、河内公平君が「成人としての義務と責任を自覚し、郷土社会の有為な形成者となるべく先輩諸氏の御指導をいただきたい」と謝辞を述べ、大人の仲間入りをしました。又、座談会は来賓、成人者が名々の立場で意見を交わし、非常にやかな内式は終了しました。又主催者の平服参加の呼びかけもむなく、女性

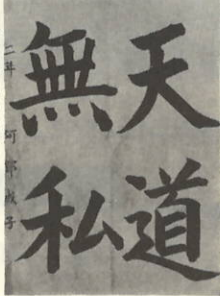
ミチシルベ

参加者のほとんどが和服であったことが誠に残念であった。

四ツ浜中一年
 永井 尚



四ツ浜中二年
 阿部 成子



「ガン」を追い出せよ
 ガンとは人類の敵です。あなた自身も、そしてあなたの家族の敵です。この恐ろしいガンを征服するためには一人一人、集団検査を受けあなたの所からガンを追い出せよ。

自動車事故対策センター発足に伴う交通生活貸付業務について

昨年十一月十日発足した認可法人「自動車事故対策センター」においてかかる事故で真に生活に困っている者に対し、生活資金の貸付けが行われることになりました。あつてはいけな

ことですが悲惨な事故による被害者の、保護救済生活福祉向上の促進にからみこの制度が出来た訳であります。八幡浜車庫事務所内に交通事故相談所が開設されており、まずので相談して下さい。

寝たきり老人医療費の無料化について

昭和四十八年十一月一日より実施

寝たきり老人の該当資格は満65才以上、70才未満で国民年金法の一級又は二級に該当する程度の障害を有するものです。

向くおしいことは現場住民課までお問い合わせ下さい。

昭和四十九年春奉国火災予防運動

期間(二月二十八日、三月十三日)

二月二十八日から始った火災予防運動は消防団を始

め小中学校、保育園、その他各種団体の協力を得てその成果が納められました。

これも町民各位の御支援各ご家庭における、深いご理解の賜物であると存じます。

本運動はこの期間に終ることなく習慣的な行動として続けられ本町から火災を起さない、不幸な家

庭を作らない運動に展開して行きたいものと考えます。林野火災の予防にも

充分留意をお願いします。

おせ



瀬戸商工会

瀬戸町中小企業振興資金貸付について昭和四十八年七月から町内の中小企業の金融難を緩和し、その育成振興を図るため本制度が実施されています。

●融資対象者 町内に住所又は事務所を有し中小企業を営んでいる個人又は法人(町税完納者)

●融資限度 五十万円

●融資期間 二十九月以内

●融資利率 金融機関の借入利率に保証料を加えたもの(返済なく完結した者に町より利息補給(一・八%)があります。)

●保証人 二人(町税完納者)

●申込先 瀬戸町商工会(年中受付)



瀬戸郵便局

就職、進学などのため、転居された時は、あなたの大切な郵便物が迷子にならないよう次のことに注意して下さい。

郵便局にも転居届を

転居届を出された方は、転居届先へ郵便物を転送いたしますが、転居届がない時は、差出人に返送されてしまいます。

所定の用紙でなくても、「ハガキ」でもさしつかえありませんので、届出

人の、氏名・印・旧住所・新住所、転送を開始する日を御通知下さい。

瀬戸町農業後継者協議会

請負約定の実施について

私連合員は若き者が都市へ移出する時流の中で郷土に踏み止まり、若き夢を託して日夜努力を積み重ねています。

農家の大黒柱が出家せざるにいたり、又技術未習得のために約定が出来ない農家に対し、瀬戸町のみかんの市場性をたかめるためにも農協の指示に従い、請負約定を実施致しますので希望農家は速速まで連絡をお願いします。



人々のうごき

昭和四十九年二月分(順)組

- 伊達 澄子 伊三方机
- 松本 洋子 伊三方机
- 吉木 為幸 塩成 成成
- 佐々木 洋子 塩成 成成
- 石井 舞子 和歌山
- 真善子 和歌山
- 藤田 眞善子 和歌山
- 正幸 長三 崎機
- 野川 玉代 崎機